

令和4年度 第4回 学校運営協議会 議事録

日時：令和5年2月3日

15時30分～17時

場所：図書室

○ 校長より挨拶

今年度もまとめの時期となりました。

来年度に向けて、より良い学校作りのためにご相談させていただきたい。

学校では昨日都立の推薦入試の発表があり、73.6パーセントの合格率でした。

3年の教職員はじめ全教職員の努力の賜物です。地域の皆様からも励ましの言葉をありがとうございました。

事務局より

○ 3学期の行事について（教務主任）

2学期最後の行事で弁論大会がありました。リモート開催でしたが選ばれた弁士たちが自分の意見をしっかり発表し、聞いている生徒たちが考える様子もみられ、開催してよかったです。

3学期が始まって1年生はスキー教室が行われました。1月12日から2泊3日で菅平に行き、無事に終わることができました。コロナ関係の濃厚接触者で1名欠席、不参加の2名、全部で81名が参加しました。1年生は小学校では宿泊行事がなく今回が初めての宿泊行事だったので教員たちも心配はしていました。初日は落ち着きがなく時間も守れなかったり落とし物がとても多かったです。日ごとに時間を守ることはできるようになり、生徒たちは楽しんでいたので、いい経験になったのではと思います。

2年生は海洋教育のひとつとしてイカの解剖を行いました。おやじの会の方々のご支援もいただきありがとうございました。

3月4日からは校内作品展が始まります。1年間で作った生徒の作品が展示されます。もしお時間がありましたらご覧いただければと思います。

同じく3月4日には3年生が海洋教育でサメの歯化石を学習する取り組みもあり、1年生はペップトークの講演会を開催する予定です。

3月17日は卒業式ですがその1週間前に3年生は校外学習で劇団四季の公演を観に行きます。東京都のプロジェクトの一環として申し込み柳沢中が当たりました。卒業遠足の代わりにとなり、全員が進路が決まった状態で参加できるといいなと思います。

1学期に行う予定だった国際理解、ヒッポファミリークラブの方をお呼びして3月22日に行う予定です。さまざまな文化を学んだり実際にいろんな言語を話す体験もあります。3年ぶりの開催です。

○本校の近況について（生活指導主任）

1年生のスキー教室、小学校の時に宿泊学習がなかったので、生徒たちはとても楽しみにしていました。事前学習では「集団で生活するからにはきちっとしたルールもあるし、それを守ってこそ楽しいことがあるんだよ。」という話をしました。学校の外に出て、保護者もいない状態で緊張感を持ちながら子供たちは一生懸命取り組んでいたと思います。帰ってきてから作文を読むと、いろんなことを身に付けてきたんだということが分かります。

2年生も先日校外学習で都内巡りがあり、3年生も進路でお互い思いやったりしている様子が温かく感じ、落ち着いてきているなと思います。

課題点では、1年生では学校で問題があったとき、生徒が名乗り出るのに時間がかかり、解決するのに約2か月かかりました。

1年生も後半になって活発になってきています。休み時間も教員が目を配るようにしているのですが、どうしても少ない人数で目が届かないこともあり、生徒たちに休み時間の注意喚起をするとともに、もう少し大人の目もあるといいなというのを感じます。保健室の来室が増えているという話が養護教諭からもあります。気持ちが落ちていて相談に乗ってほしいという生徒が多く、スクールカウンセラーの出勤も火曜日だけで時間が足りない状況です。

学力については、勉強をしたくても勉強に集中できる環境がなくてできないという状況が増えてきたように思います。学校としては勉強を教え、課題を出し、フォローアップもしていますが、おうちに帰ってちゃんと宿題をすとか、しっかり食事をとるとか、寝る時間が確保されているとか、そういう基本的なことをする時間が確保できない生徒が問題を抱えて学校で表面化されてきているのかなと最近感じます

中学生は思春期まっただ中で、いろいろ考えるところがある中で、とにかく話を聞いてもらえる少しの時間がほしいと感じ、応えられる体制を学校や地域の中で作ってあげたいと強く思います。その中でも道徳の時間で思いやりについて学習した時は、いい意見や考えが出ていましたが、実際の生活になると自分の抱えているもやもや感と重なって上手くいかなくなりトラブルの原因になっているのかな、と感じます。

おうちでの問題の場合もあり、悩んでいる生徒にどこまでできるのか、学年や学校で話し合いながら模索しているところです。何かお願いすることがあるかもしれませんが、その時はよろしくお願いします。

委員 今の話を聞いて、やっぱり「やぎカフェ」は必要な場ではないかと思います。

「やぎカフェ」は生徒たちのささいな悩みのはけ口を出せる場所でもあったんですよ。

大人も混ざって話すのと生徒だけで話すのも違いますし、子供ながらに大人に話すだけで吹っ切れる部分もあると思います。解決しなくても話すだけですっきりすることもあるので「やぎカフェ」は大事な場所だったんだな、と思うし、早く復活させて活用してもらえればと思います。コロナ前はいろんな大人の方が入り、いろんな学年でゲームなどしていました。

教員 いろんなところからアプローチしていただいて、生徒たちも教員には見せない部分もあるとおもうので、ぜひ見ていただきたい。

委員 もともと子供たちの居場所つくりのために始まったものなので、いいと思います。

教員 私たちも助かります。けっこう悩みを抱えている子が多いから、復活してほしいです。

協議事項

学校から地域の皆様へ

○校長より

日頃よりありがとうございます。

- ・ 学力アップのためにできることを考えています。

ユニバーサルデザインからの視点でわかりやすい授業の工夫をしています。

8つの取り組みも心掛けています。

※学校だより参照

- ・ 学校だよりから、1月は挨拶からつながることが大事と伝えていきます。

下の欄に魔法の言葉とありますが、今年は日本ベップトーク協会の実践モデル校となっていますので、自分を励ます言葉を3年生に話をしてメンタル面のアクションもやってきました。保護者の方向けに2月20日まで柳沢中の保護者向けの講演会をYouTubeで配信しています。

- ・ 学校評価、全体の体力テストの結果についてはお配りした資料をご覧ください。

第三者評価として運営協議会の皆様に学校評価のアンケート結果の評価をご記入いただきたいと思います。

いただいた第三者評価をもとに、来年の学校経営方針を作っていきたいと考えています。

- ・ ユニバーサルデザインの観点から、指示の理解をさせるためにはわかりやすい言葉を使うように教職員には心掛けてもらっています。具体的に伝えることも大切です。集中力を保つためには視覚や映像で伝えることも必要です。授業では「今日の授業のテーマ」を提示することをルーティン化するようにしています。これは生徒にとって「分かりやすい授業づくり」の評価が高くなっています。

「確かな学力の向上」ではICTのタブレットを使って授業を充実させたいと考えています。

- ・ 「豊かな心の育成」 心の教育も大切にしています。
今年ボランティアができ、地域のお祭りやどんど焼きで生徒たちが活躍し、心が育っていると感じます。
- ・ 「個に応じた指導」 部活動や行事などで達成感の得られる活動ができました。
- ・ 「地域との連携」 地域の方とのつながりは充実しているが、今年は学生ボランティアは少なかった。働き方改革にはつながっていないようで、評価が2になっています。
- ・ 体力テストの結果もでています。来年は結果を踏まえて補助運動なども加えていきたい。

○質問、意見などがあればお願いします。

委員 先ほど小学校で宿泊行事がなかったため、できないことが多かったとのことですが、基本は家庭だと思います。すべての生徒がやりたいことができる環境づくりをしてあげるのが大切なのではと考えています。

体力の低下はやはりコロナ禍が関係していると思います。

学校評価もこのコロナ禍の中での数値なので、それを踏まえたうえで評価をしていきたいと感じました。その中で、取り組んでいったらいいことの提案、協力できることをご提案できたらと思っています。

委員 先ほどボランティアの人数が減っているとの話がありましたが、大学ではやはりコロナ禍で学費の支払いが厳しく、アルバイトを始める生徒、奨学金制度を利用する生徒が増えていることが理由の一つとも考えられます。今後も地域の大学として連携をとっていきたいと思いますので、お話をいただければと思います。

以上で終了します。

次回の開催は3月3日です。